



## HTML基礎講座

渡邊 弘子

### I. はじめに

今回の内容は、2007年11月、12月、2008年1月の3回（計6時間）にわたり行った「HTML講座」をまとめたものです。各病院の院内図書館で業務にあたっている方々で、今回ご参加いただけなかった方々にお読みいただき、HTMLのタグ入力の楽しさや必要性に少しでも興味を抱いていただければ幸甚でございます。なお紙面の関係上、第II部の応用編は割愛いたしました。

### II. HTMLとは何か？

HTMLとは「Hyper Text Markup Language」の頭文字を取ったもので、プログラム言語またはその規格であり、ネットワークでつながった世界中のWebサイト<sup>\*1</sup>（サイト）を関連づける役割を持っています。また、HTMLはコンピュータの機種やOS<sup>\*2</sup>に依存することなく使えるよう、格納時に特別なファイル形式を用いず、全てをキーボード上の文字で表現するテキストファイル形式になっています。

テキストファイルを作成・編集するのに必要なのは、テキストエディタ（エディタ）というソフトです。Windowsなら「メモ帳」が標準でついています。エディタには、他機種や他エディタで作ったファイルでもそのまま編集することができるという互換性があります。

### 1. 要素とタグ

HTMLデータはテキストファイルで表すため、レイアウト機能はありません。レイアウトさせるためにはマークアップ記号を用います。マークアップ記号の中には要素とタグがあります。HTMLは要素の持つ役割を、タグと呼ばれる記号で示す記述方法です。

要素とは、文書の内容をわかりやすく表現するための役割のことです。例えば章、見出し、段落、文字の色や大きさなどの書式、表などがあります。WWWブラウザ<sup>\*3</sup>（ブラウザ）は、HTML文書の中からタグを探し出し、タグの持つ要素を解釈して、サイト閲覧者がその役割を理解しやすいように表示します。文字を変化させて表示したり、写真や動画を表示したり、別のWebページ（ページ）にリンクさせたりするなど、サイト閲覧者を楽しませるサービスを提供しています。

HTML文書のタグ構成と実行例を見てみましょう（図1）。

例えばタイトルは、titleタグを用いて<title>と記述します。これはページの一番上のタイトルバーに表示されるページの名前（看板）の役割を担います。実行される（ブラウザで見る）と図1の実行例のように、「HTMLとは何か？」とタイトルバーに表示されます。大半のタグは、上記のようにペアで表示したい文

わたなべ ひろこ：有限会社マイスター・ラボラトリー パソコンスクール LaLaメイ  
mystar-labo@jasmine.ocn.ne.jp

※1：解釈の違いはあるが、インターネットで見られるページの総称。

※2：基本ソフト（Operating System）のこと。Windows XP、VISTA、Mac OSなどの種類がある。

※3：Webページを閲覧するためのソフト。

言(図1の場合は「HTMLとは何か?」)を挟んで用います。先頭に来る<title>を「開始タグ」、</title>のように表示したい文章の最後に来るものを「終了タグ」と呼びます。終了タグは「</>」で始めます。タグの中には、改行を表す<br>(英語のbreak)のように終了タグを必要としない単独タグもあります。titleタグは、ブラウザのタイトルバーに表示させるだけでなく、検索エンジンの結果として紹介されたり、お気に入りや履歴に表示されたりしますので、必ず記述しましょう。また、タグは必ず半角英小文字で記述します。タグ中に入れる要素名(head、titleなど)も、半角英小文字で入力します。ただし、タグの間に挟む文言は、半角・全角関係なく実行時に表示したい内容をそのままの文字で記述すればよいのです。

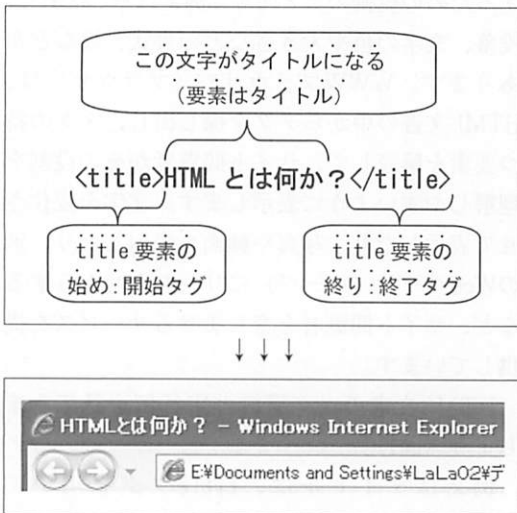


図1 HTML文書のタグ構成例・実行例

2. head要素とbody要素

HTML文書はhtmlタグで囲まれています。つまり、文書自体もhtml要素として捉えているのです。大半のHTML文書は、htmlタグの中でhead要素とbody要素の2つで構成されます。

head要素は、文書自身に関する情報(タイトル、リンクページ、動的ページ作成のための言語・JAVASCRIPTなどの他の記述言語情報)を

納めた部分で、文書でいえば表紙に相当します。

body要素は、文書の本文で、これらをHTMLで記述すると以下ようになります(図2)。

```

<html>
  <head>
    <title>タイトルなどの文書情報</title>
    関連リンク情報などの要素
  </head>
  <body>
    見出し(<h1>~</h1>~<h6>~</h6>)や
    段落(<p>~</p>)など本文構成要素
  </body>
</html>

```

図2 HTML文書の基本例2

head要素とbody要素は必ずこの順序で記述します。1つのページには、それぞれ1回だけしか使えません。

3. HTML作成に必要なもの

body要素の中にページを構成する本文を作成します。この部分にタグを記述することで、ページが形を成していきます。タグを記述しては保存して、ブラウザで実行結果を確認します。基本はこの操作の繰り返しです。HTMLを使ってタグ入力をする場合に必要なのは、きれいなタグ管理が可能なエディタと結果確認のためのブラウザだけです。

4. エラーが出ない

通常のプログラム言語は、文法を記述ミスするとエラーが出ます。また論理上に不備があると結果が思ったようには出てきません。ところがHTMLは、記述が間違っていて結果がおかしくても、エラーが出ません。例えば<b>>花</b>のように太字の開始タグに余分な">"を書いても、結果は「>花」となるだけでエラーにはならないのです。そのためタグ入力をする場合は、こまめに保存・実行を繰り返し、実行結果が思うように表現されているかどうかを確認してください。

前置きは、このくらいにさせていただきます。今般のHTML講座内容に移ります。

### Ⅲ. 講座内容 (基礎編)

HTML基礎講座では、Windowsについて  
 するエディタのメモ帳で「最初の一步.txt」とい  
 うテキストファイルを作成しておきました。そ

れにタグを記述していくことでページを仕上げ  
 ていく過程を講習しました。

●準備するもの

メモ帳：今回は、あらかじめメモ帳（「はじめに」フォルダの中の「最初の一步.txt」）を準備しました。

ブラウザ：インターネットを閲覧するためのサービスを提供しているソフトです。

IE (Internet Explorer)、FireFox、Netscape Navigator があります。講座ではFireFoxが  
 標準になっていましたが、右クリックでIEを指定してブラウザとして使用しました。

画像：今回は、あらかじめ使用する画像を集めた「gazou フォルダ」を準備しました。

フォルダ：今回は、「はじめに」というフォルダに使用するファイルを集めました。

サイト作成に必要なファイルは、すべて同じファイルに入れておく必要があります。

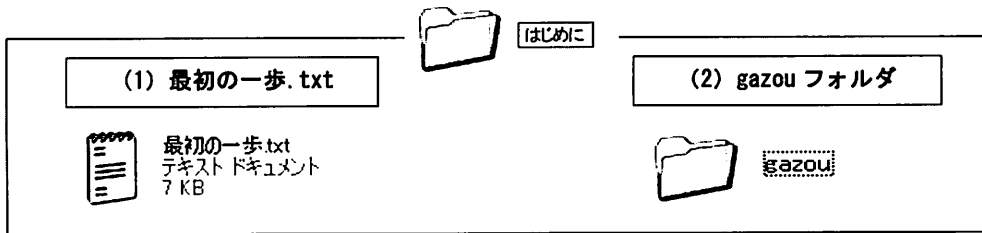


図3 準備するもの

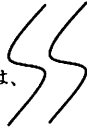
まず、「最初の一步.txt」ファイルの内容を  
 確認してみましょう（図4）。そのまま見ると、  
 記述者が見やすいように入力しているので、見

た目は普通の文書です。図4は、講座の第I部  
 で使用した内容です。

- (1) ここはHPの頭になるHEADを書きます。Titleの中にはホームページのタイトルを書きます。
- (2) 「最初の一步」を<TITLE>に入れてね。TITLEはホームページの名前になります。
- (3) これはメモです。画面にはでないよ。注意書きや覚え書きを書いてね。
- (4) ここからbodyがはじまるよ！ここで、bodyの背景に色を塗ってみましょう。色はPINKにしましょう。
- (5) この文字は太字です。
- (6) この文字は斜体文字です。
- (7) この文字のcm2は上付き文字です。
- (8) この文字のco2は下付き文字です。
- (9) この見出しサイズは<H1>で太字で改行されます。この見出しサイズは<H2>で太字で改行されます。この見出しサイズは<H3>で太字で改行されます。この見出しサイズは<H4>で太字で改行されます。この見出しサイズは<H5>で太字で改行されます。この見出しサイズは<H6>で太字で改行されます。
- (10) この文は比較的大きな文字です。
- (11) この文は比較的小きな文字です。
- (12) このフォントのサイズは1です。
- (13) このフォントのサイズは2です。
- (14) このフォントのサイズは3です。
- (15) このフォントのサイズは4です。
- (16) このフォントのサイズは5です。
- (17) ここにウサギの図を貼り付けましょう。ウサギが徐々に大きくなっていきます！  
 サイズを 幅・高さとも原寸サイズから、50ピクセルずつ大きくしていきます。
- (18) 文字や色を変える練習を行いましょう。  
 ここから、文字の色を変えて行きます。文字を見出しサイズの<h3>で、赤黄緑に変更しましょう。

省略内容部分

(19)～(27)は  
必要な方は、



説明を省略しています。  
ソースを提供します。

- (19) は色の変化方法 (20) はその練習 (21) は見出し文字の配置
- (22) は文字の回転方法 `marquee`。(23) は整形済みテキスト `pre`
- (24) 水平線挿入 (25) 画像の貼り付け練習
- (26) 背景に画像貼り付け (27) 段落 `p` (28) 箇条書き・リスト処理

(29) 外部の Web ページへリンク (外部リンク) や自分の HP 内でのリンクは、`<A>~</A>` を使います。この部分は予め記述していますので、内容を確認しましょう!

●Yahoo Japan のページにリンクを貼ってみましょう!

`<a href="http://www.yahoo.co.jp" target="_blank">ヤフージャパンへ!</a>`

●今回学習する、図書館 HP にリンクを貼ってみましょう!

`<a href=" ../index.html" target="_blank">図書館HPへ!</a>`

●このページの `body` の先頭部分 [(5)] に移動させましょう!

`<a href="#top">このページの先頭へ!</a>`

(30) 最後に、表組み (表作成) の練習を行いましょう。`<table><tr><td>` タグを使います。ここで学習する内容を書いておきます。

- ① 3 つのタグで標準の表を作成
- ② `<caption>` で表タイトルをつける
- ③ ウィンドウサイズや高さを調整
- ④ 表の背景に画像 (`gazo` フォルダ内) と色を設定
- ⑤ 列幅・行の高さを設定
- ⑥ 文字を画像に変更
- ⑦ セルの結合
- ⑧ 複数表を作成

11月5日(月)の天気

都市名	最高気温	最低気温	降水確率	お天気	画像
札幌	13℃	5℃	10%	晴	
東京	16℃	13℃	90%	雨	
名古屋	17℃	12℃	80%	雨	
大阪	18℃	14℃	90%	雨	
福岡	18℃	15℃	70%	曇	
沖縄	28℃	24℃	30%	曇	

上の表を見本のように変更していきましょう!! この天気予報は11月7日時点の内容です。

11月8日(木)の天気予報

都市名	最高気温	最低気温	降水確率	お天気画像
札幌	10℃	4℃	10%	晴
東京	18℃	11℃	0%	晴
名古屋	20℃	12℃	0%	晴
大阪	21℃	12℃	0%	晴
高知	22℃	14℃	0%	晴
沖縄	27℃	23℃	50%	雨

11月9日(金)の天気予報

都市名	最高気温	最低気温	降水確率	お天気画像
札幌	9℃	14℃	20%	晴
東京	20℃	14℃	20%	晴
名古屋	20℃	12℃	30%	曇
大阪	21℃	14℃	40%	曇
高知	22℃	14℃	50%	雨
沖縄	27℃	22℃	60%	雨

図4 「最初の一步.txt」の内容 (途中(19)～(27)省略)

しかしサイトはブラウザを通して見るものなので、「最初的一步.txt」の内容はブラウザを通して見る形式 (htmlまたはhtm) で保存をしないとけません。

保存方法 (図5) は、「最初的一步.txt」が開かれている状態で、メニューバー [ファイル]

→ [名前を付けて保存] → 保存する場所は [はじめに] フォルダで、[ファイルの種類] をすべてのファイルに変更し、[ファイル名] を「start.html」にします (注意: 現実のサイトのTOPページの場合、ファイル名は必ず「index.html」にしてください)。

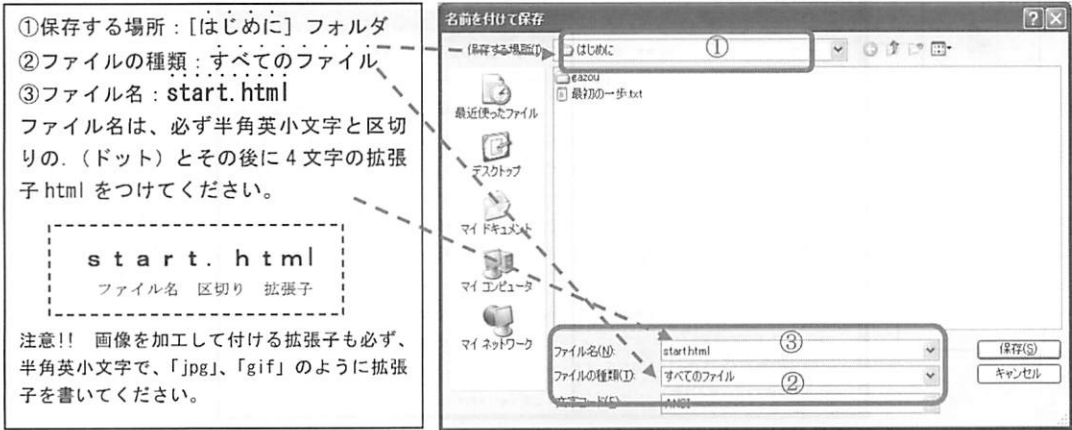


図5 保存方法

保存すると、アイコンの形がIEのアイコン (図6) に変わります。保存した「start.html」をダブルクリックで開いて内容を確認してみましょう。すると、「最初的一步.txt」のような段

落が無く文章が全て繋がって表示されます (図7)。それがブラウザで見たページです。これをタグ入力で直していきます (この時点で、メモ帳の「最初的一步.txt」は不要になります)。



図6 IEのアイコン



図7 「start.html」の内容の一部

次に手直しするソースプログラム (ソース) を出しましょう (図8)。「start.html」を開いた状態で、メニューバー「表示」→「ソース」と選択します。すると、最初に確認した「最初の一步.txt」の内容が表示されます。これがソ

ースです。表示したソース画面は最大化せず、編集しやすいサイズに調整して使用します。実行画面であるブラウザ画面は最大化に近いサイズがよいでしょう。



図8 ブラウザで見たイメージと表示されたソース

図8のように、常に作業用 (ソース) とイメージ確認用 (ブラウザ) の2つのファイルを開いた状態で、ページを作成していきます。作業は、「start.html」のソースにタグを入力して手直しを行い、必ず上書き保存 (Ctrl) を押しなが (S) キー) をした後、ブラウザ画面の「更新」 (F5) ボタンを押して内容確認をするという処理を繰り返します。

実際に、少しソースの手直しを行い、更新して確認してみましょう。開いている「start.html」のソースにタグを入力していきます (以下は図10と照らし合わせてお読みください)。タグは必ず、半角英小文字で入力します。

1行目にある「(1)ここはHPの頭になる ~ タイトルを書きます。」に注目してください。この先頭にタグを入力したいので、(1)の前で改行を押して空白行を作り、<html>と入力して改行を押します。前述したように、ほとんどのタグは開始タグと終了タグの間に文言を記述して

いきます。即ち<html>があれば、</html>が必要です。</html>はソースの最終行に書きます。先頭の部分に戻って、次の行に2個くらいスペースを空けて、<head>と書いて改行を押します。実行画面に反映されないけれども改行やスペースを設けるのは、ソースの見やすさと、階層の始まりと終わりをそろえる意味もあります。次にページのタイトルを「最初の一步」とつけるので、<title>最初の一步</title>と記述します (SEO対策#4を行う場合、この部分にmetaタグを使って、keywordsやdescriptionなどのcontentを記述します)。その後、headタグの終わりの</head>を記述します。次に実行した時の画面の見やすさのために、<br>と書きます。これは書いた数だけ空白行ができます。このタグについては、終了タグは不要です。

(3)は、<!-- -->を入れると、ソースには表示されている部分 (図10の場合は、「これはメモです。画面にはでないよ。注意書きや覚え書

※4 : GoogleやYahooなどのロボット型検索エンジンの検索結果で、ページの表示順の上位に表示されるように対策すること。

きを書いてね。」の文言) が実行されません。ソースを見る時に、内容が理解できやすいようにするメモ書きとして使えば良いでしょう。

(4)の後に、bodyが始まる旨があります。前述したようにbodyの最後にあたる</body>は、</html>の手前に書きます。また<body bgcolor="pink">はページ全体の背景色をpinkにするというタグです。書式は<要素名 属性="値">です。bodyは要素名、bgcolorが属性、"pink"が値で、要素名と属性の間には半角の空白を必ず入れます。値(この場合はpink)は色名で記述していますが、色名の代わりに16進数でも記述できます。16進数で表した場合は<body bgcolor="#FFC0CB">となります。コンピュータでは、さまざまな色を赤緑青それぞれ0~255の256階調の組み合わせで作ります。この値を16進数に変換すると、00~FFで表現することになります(図9)。例えば、白は色名では"white"ですが、16進数では"FFFFFF"となります。#記号はこれ以降が16進数であることを表すので、必ず記述してください。色についての情報は、市販のテキストやサイトを探せば確認できます。

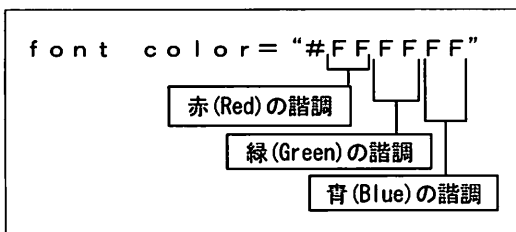


図9 16進数表記の例

(5)は太字にするタグです。太字にしたい文言を<b></b>で挟みます。

(6)は斜体にするタグです。斜体にしたい文言を<i></i>で挟みます。

(7)は上付き文字にするタグです。上付き文字にしたい文言を<sup></sup>で挟みます。

(8)は下付き文字にするタグです。下付き文字にしたい文言を<sub></sub>で挟みます。

(9)は最も大きい見出しサイズにするタグです。大きい見出しにしたい文言を<h1></h1>で挟みます。同様に<h2></h2>から<h6></h6>まで記述でき、見出し文字サイズの大きさが変化していきます。h1タグが最も大きく、h6タグは最も小さいサイズです(ページの上方にh1タグやh2タグを使用すると、SEO対策の1つになります)。

(10)は比較的大きい文字にするタグです。大きい文字にしたい文言を<big></big>で挟みます。

(11)は比較的小さい文字にするタグです。小さい文字にしたい文言を<small></small>で挟みます。

```
<html>
  <head>
    (1) ここは HP の頭になるHEADを書きます。Titleの中にはホームページのタイトルを書きます。
    (2) 「最初の一步」を<TITLE>に入れてね。TITLE はホームページの名前になります。<br>
      <title>最初の一步</title>
    </head><br>
    (3) <!-- これはメモです。画面にはでないよ。注意書きや覚え書きを書いてね。--><br>
    (4) ここから BODY がはじまるよ！ここで、BODYの背景に色を塗ってみましょう。色はPINKにしましょう。<br>
    <body>
    <body bgcolor="pink"><br>
    (5) <b>この文字は太字です。</b><br>
    (6) <i>この文字は斜体文字です。</i><br>
    (7) この文字のcm<sup>2</sup>は上付き文字です。<br>
    (8) この文字のco<sub>2</sub>は下付き文字です。<br>
    (9) <h1>この見出しサイズは<H1>で太字で改行されます。</h1>
    <h2>この見出しサイズは<H2>で太字で改行されます。</h2>
    <h3>この見出しサイズは<H3>で太字で改行されます。</h3>
    <h4>この見出しサイズは<H4>で太字で改行されます。</h4>
    <h5>この見出しサイズは<H5>で太字で改行されます。</h5>
    <h6>この見出しサイズは<H6>で太字で改行されます。</h6><br>
    (10) <big>この文は比較的大きな文字です。</big><br>
    (11) <small>この文は比較的小きな文字です。</small><br><br>
```

図10 ソースへのタグ入力



ここで上書き保存 ([ファイル] → [上書き保存] か **Ctrl** キーを押しながら **S** キーを押す) をしましょう。上書き保存はこまめに行います。そのためには後者の操作を覚えておきましょう。保存後、IE側の画面の更新ボタンを押します (IE6は、 IE7は、)。すると

図11のように実行結果が出てきます。タグを書いた部分は、要素が実行されますが、(12)以降は何も書いていないので、まだ文章が一群となって繋がっています。

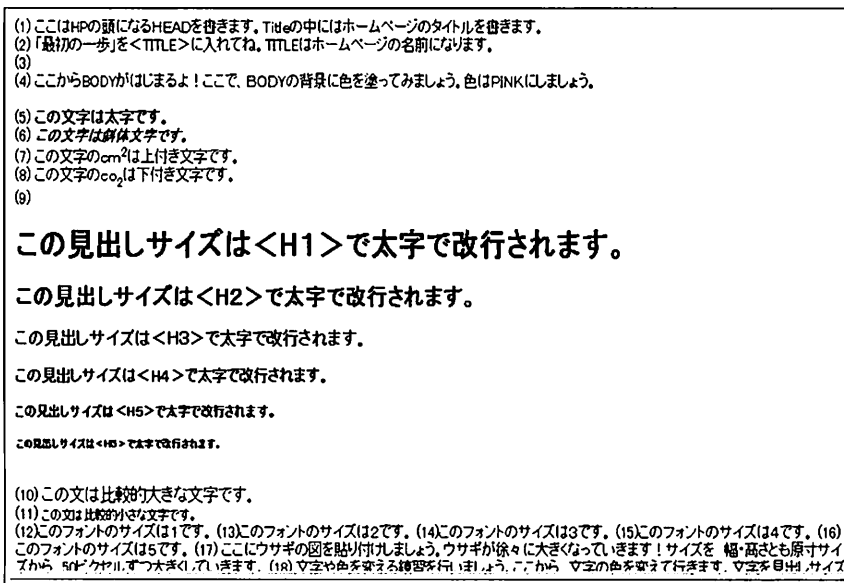


図11 実行結果をブラウザで見た場合



(12)~(16)は、フォントサイズの指定です。(12)を例にとって説明します。実行結果は図19で確認してください。

図12のようにソースに記述すると、図19の

```
(12)<font size="1">このフォントのサイズは1です。</font>
```

図12 フォントサイズの指定

(17)は画像を貼り付けて、そのサイズを指定する方法です。貼り付けたいウサギのイラスト画像 (rabbit.gif) は、gazouフォルダに入れています。サイズは横 (width) 縦 (height) をピクセル値\*5で表現します。図13がそのタグです。先ほどと同様に書式は<要素名 属性="値">で

```

```

図13 画像の貼り付け・サイズの指定

内容がほとんど同じで一部変更の場合は、記述した行をドラッグして、コピー (Ctrl キーを押しながら C キー) & ペースト (コピー先で Ctrl キーを押しながら V キー) すると、効率よくソースを作成できます。ソースを作成・保存した後、ブラウザの更新ボタンを押して画面の実行確認を行いましょう。

(18)は文字の色を指定する方法です。図19のよ

```
<h3>ここから、文字の色を変えて行きます。文字を見出しサイズの<h3>で、<font color=" #ff0000" >赤 </font>
<font color=" #ffff00" >黄</font><font color=" green " >緑</font>に変更しましょう。</h3>
```

図14 文字色の指定の記述例

(19)~(28)のタグの説明は省略します。

図4にある(29)はリンクを貼る方法です。リンクタグは、<a href="URL">または<a href="ページのある場所">と記述します。外部のサイトへのリンク例として、図15ではYahoo! JAPANにリンクを貼っています。target="\_blank"は、自分自身のページを残し、リンク先を新しいウィンドウで表示することを指示しています。図16

ようにタグの間に記述された文言の文字サイズが指定されます。数値 (この場合は1) を増やせば、文字サイズが大きくなります。

す。タグ内に複数の属性="値"が続く場合は、必ず属性="値"と属性="値"の間に半角で1つ以上の空白を空けてください。図19のウサギは縦横の値を50ずつ増やした結果、サイズが大きくなっています。

うに赤黄緑の文字をその色で表す場合、図14のようにソースに記述します。fontタグを記述して、保存、実行をすると<font color=~>の値部分の色に文字色が変わります。直接の色名 "red"でも、16進数の"#FF0000"でも結果は同じです。注意することは、終了タグ</font>を忘れないことです。

は、今回の講座で作成中の自分のページ内の先頭部分へのリンク例です。この場合、ジャンプする箇所に<a name="#top">と先に記述しておく必要があります。このタグの意味は、該当場所に名前をつけることです。(この場合はtopという名前)。図17は、今回の講座で作成中の自分のサイトの別のページへのリンク例です。../は1つ上の階層に戻ることを示します。つま

\*5：画像を構成する最小単位を表し、色と位置を決めるデータのこと。画素数や解像度とも言う。

り、図17の場合、自分自身のページを残して、  
「1つ上の階層の図書館HTML講座フォルダ中

のTOPページを新しいウィンドウで表示して  
ください」という意味になります。

```
<a href=http://www.yahoo.co.jp target="_blank">ヤフージャパンへ!</a>
```

図15 外部のサイトへのリンク例

```
<a href="#top">このページの先頭へ!</a>
```

図16 ページ内の別場所へリンク例

```
<a href="../図書館HTML講座/index.html" target="_blank">図書館HPへ!</a>
```

図17 他フォルダのHPにリンク例

(30)以降は、表（テーブル）作成です。表作成  
の基本を、図18の左肩につけている記号を元に  
説明します。図4の丸数字から下の部分（「11

月5日～」のあたり）が表になるデータです。  
図18はそれらにタグをつけたものです。

```
A <table border="2">
B <caption>11月5日（月）の天気</caption>
C <tr><th>都市名</th><th>最高気温</th><th>最低気温</th><th>降水確率</th><th>お天気</th><th>画像</th></tr>
D <tr align="right"><td align="left">札幌</td><td>13℃</td><td>5℃</td><td>10%</td><td>晴</td><td></td></tr>
E <tr align="right"><td align="left">東京</td><td>16℃</td><td>13℃</td><td>90%</td><td>雨</td><td></td></tr>
F <tr align="right"><td align="left">名古屋</td><td>17℃</td><td>12℃</td><td>80%</td><td>雨</td><td></td></tr>
G <tr align="right"><td align="left">大阪</td><td>18℃</td><td>14℃</td><td>90%</td><td>雨</td><td></td></tr>
H <tr align="right"><td align="left">福岡</td><td>18℃</td><td>15℃</td><td>70%</td><td>曇</td><td></td></tr>
I <tr align="right"><td align="left">沖縄</td><td>28℃</td><td>24℃</td><td>30%</td><td>曇</td><td></td></tr>
J </table>
```

図18 タグ入力された表のソース

#### A. 表のタグ

表作成の場合は<table></table>の間に表示  
したい内容を書いていきます。border="2"は  
表の枠線の太さを表します。数値を大きくする  
と枠線が太くなっていきます。

#### B. 表題のタグ

captionタグは、表題の作成を行います。

#### C. 表内容のセル部分

trタグは表に行を設定して、tdタグは列方向

にマス目（セル）を設定します。thタグは見出  
しセルを設定します。間の文字は太字で中央揃  
えされ、表の項目名によく使われます。thタグ  
をtdタグにすると、通常の文字セルになりま  
す。

#### D. ～ I. までの共通事項

<tr align="right">は行全体の文字位置を右  
に配置します。<td align="left">は各セルの文  
字位置を左寄せにします。値を"center"にすれ



## V. タグ入力の特長

ページを簡単に作成できる市販のソフトもいくつかありますが、タグ入力をするメリットとは何でしょうか。私なりのタグ入力の良さをまとめてみました。

### 1. ページの仕組みがわかる

市販のソフトを使うと、テンプレートで選んだ背景の中に、絵や写真を見たままの位置に配置できるので、簡単に急ぐ時には助かります。タグ入力では、絵や写真を全て文字で書かねばなりません。自分でタグを書き、そのタグが読めて理解できれば、次の段階では他の人が作ったページのソースが理解できます。即ちタグ入力がわかれば気になるページの仕組みがわかるのです。

### 2. 簡単に修正できる

他者が作ったページを少し変更する時に、作成者の手を煩わせることなく、自分でソースを出して変更できます。複雑なソースであっても、メニューバーから「編集」→「検索」を選択して、変更したい個所の検索キーワードを入力して検索を行えば、簡単にソースの変更が行えます。その後保存・更新を行って、ソースをサーバにアップロード<sup>6</sup>すると、タイムリーにページの更新が行えます。

### 3. 無料のSEO対策ができる

今回の講座では、サーバへのアップロードやページに力を持たせるSEO対策などの説明は行いませんでした。しかしSEO対策サイトなどを参考にすれば、作成者自身がタグ入力を行うことで基本的なSEO対策はできます。市販のソフトを使用してもSEO対策はできません。ある程度ソースが読めれば、適切な場所に適切だと言われているタグを配置することにより、無料のSEO対策が可能になります。

### 4. オーダーメイドできる

タグ入力したソースを実行させて、結果を確認する作業を繰り返すことにより、内容が

刻々と変化することが確認できる喜びは、物造りの感動にもつながります。市販のソフトで作成したページは、文章、絵、写真を配置するのが主のレイアウトであれば、タグ入力は、現物の絵や写真を文字入力で具体化していくオーダーメイドと言ったところでしょうか。好みによりますが、時間をかけずに結果を出したい場合は市販のソフトを使えば良いでしょう。時間に余裕がありタグ入力を覚えたい方は、タグを書いてみるという使い分けをされても良いかと思えます。

### 5. スタイルシートの基礎知識になる

例えばSEO対策の1つになるため、h1タグの文言をできるだけページの上の方に記述すると、h1タグの文字サイズが大きすぎるために全体のバランスが取れないということがあります。h1タグを使いながらも見た目の文字を少し小さくして全体をきれいにデザインしたいと思ったら、次の段階としてスタイルシートを使って書式のコントロールができます。

スタイルシートとは、CSS (Cascading Style Sheets) のことで、ページ内の各要素に対して背景色、フォントの種類や文字の大きさ、色、行間の幅、修飾など文書の見栄えや体裁に関する情報をひとまとめにした文書の雛形です。詳細なデザイン指定で、HTMLだけでは不可能な書式が実現できます。本来のHTMLには文書の意味(役割など)を記述し、デザイン(見栄えや体裁)はスタイルシートで記述しようという呼びかけをW3C (WWW Consortium: WWWで利用する技術の標準化推進団体)が勧告しました。CSSの良さは、ページのデザインに変更が生じた場合、全ページを手直ししなくても、CSS部分を修正することによって、それに関連するページの書式も全て更新できます。CSSは各ページでの記述もできますが、できれば前述の理由から別ファイル(拡張子は必ず「.css」)にしてください。

※6: HTML文書などをFTP(ファイル転送のための通信手段)ソフトを使用して、ネットワークを通じてサーバに送り、所定の場所に保存すること。この逆の表現をダウンロードと言う。

CSS記述例を少し紹介しておきます (図20)。

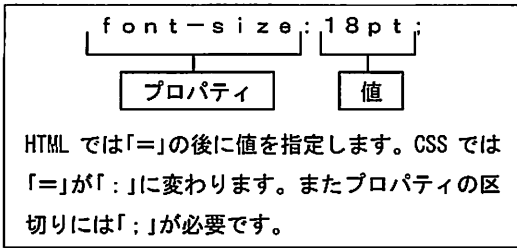


図20 CSS記述の例

タグ入力を知っていれば、書式を読んだり書き換えたりすることがスタイルシートの書式に則って楽にできます。

## VI. おわりに

最後まで、お読みくださりありがとうございました。

今回の講座の全容を知りたい方やお問い合わせは、下記までお願いいたします。使用しました資料が必要な方には、メールへの添付かCD-ROMで資料を配布いたします。

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-8-33-503  
(地下鉄御堂筋線 新大阪駅4番出口を西へ徒歩5分)

有限会社 マイスター・ラボラトリー  
パソコンスクール LaLaメイツ

TEL : 06 (6392) 0551 FAX : 06 (6392) 0563

Eメール : mystar-labo@jasmine.ocn.ne.jp

URL : <http://www8.ocn.ne.jp/~mylabo/>

※インターネットの検索で、「マイスターラボラトリー」か「ララメイツ」と入力するとページをご覧いただけます。